



檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

檀信徒、霊園使用者の皆様へ

東日本大震災から3ヶ月あまりが過ぎました。死者行方不明者あわせて2万名をこえる大災害に十分なお悔やみの言葉ありません。檀信徒の皆様の中にも縁者ご友人に被災された方のあることと思います。様々な支援をされていることと思いますが宝泉寺でも引き続きご供養を始め復興支援に取り組んで参ります。

さてこの度、宝泉寺より、機関誌「**宝泉寺報**」を刊行することになりました。住職となって早1年。新しい出発点として、皆様の役に立つ、必要な情報を発信できないか、と考えました。今お寺や仏事を巡る環境は大きく変化しています。大事な意味は後回しにされ、「値段」や「手軽さ」だけがクローズアップされている気がします。あまり大きな事はできませんが、せめて宝泉寺の檀信徒、霊園使用者の皆様には、「命のあり方」を大事にする仏教本来の意味と必要な知識をお伝えしていきたいと思っています。お寺の歳時記や、質問にお答えするコーナー、法話やコラム等、皆様に楽しんで頂けるようにいろいろと工夫していきたいと思っています。年二回、初夏と年末に発行予定です。どうぞよろしくお願いいたします。



寺報を発行します!

この寺報は宝泉寺檀信徒の皆様、八王子南霊園、新南霊園使用者の方、また、宝泉寺で仏事を執り行った方にお送りしています。今回は初めての発刊なので全員の皆様にお送りさせていただいておりますが、万が一発送不要とされる方は遠慮なくお申し出ください。また、仏事に関する質問や、疑問などございましたら、どうぞお知らせください。

電話、はがきの他インターネットメール (info@housenji.net) でも受け付けています。



法話

のコーナー



「もうすぐお盆です!」

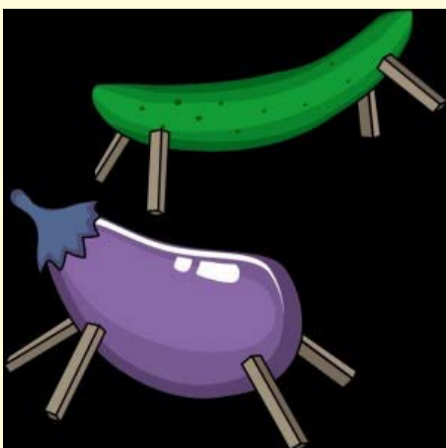


今年ももうすぐお盆の季節です。夏の風物詩ですが、年中行事として先祖供養が行われるというのは、日本ってほんとにいい国だなあ、と思います。以前知り合ったアメリカ人の方に「お盆ってナンデスカ?」と聞かれ、うーんと困ってしまいました。キリスト教圏には故人を大切にすることがあまりないんですね。だから「ご先祖様」といってもわからない。「ハア」なんて顔してる。そこでこう言いました。「自分自身のルーツを確認し、今あることを感謝するんだよ」「それは日本人誰もが参加するのか」「そうだ、仏教徒は必ず参加する」「うーん仏陀の教えはなんて素晴らしいんだ」日本の文化の精神的合理性と自他を思いやる心に大変感動した、という手紙を後でもらいました。そこまで理解してもらえらると思ってもませんでしたから逆に恐縮しちゃいました。

お盆のルーツは意外と古く、お釈迦様の時代までさかのぼります。「盂蘭盆経(うらぼんきょう)」というお経にこんな話が出ています。お釈迦様のお弟子の目蓮尊者がある日「お母さんが畜生地獄に落ちて逆さに吊されて責め苦しんでいる」という夢を見ます。

尊者は目が覚めてからというもの、自分自身が逆さに刷りにされているように思えるほど悲しみ、お釈迦様に相談します。お釈迦様は「他の苦しみを自分の苦しみと感じ、他の喜びを自分の喜びと感じる心を持ちなさい。」そこで目蓮尊者は山海の珍味を揃え、あらゆる人々に施し、自他の区別なく人々と共に喜び悲しむように努めました。その功德によって尊者のお母さんは救われました。目蓮尊者がお釈迦様の導きによって得たのは、自他一如という「慈悲」の心でした。

私たちは誰でも父母から生を受け育ちます。父母はその祖父母から、祖父母は曾祖父母から…生きとし生ける物は例外なく「先祖」代々命を受け継いでこの21世紀に生きています。➤



→ご先祖があつての私たちが訳ですね。そして今を生きるのは自分だけでなく隣の人も等しく先祖から尊い命を受け継いだ「私」です。世界中で等しく尊い「私」が生きている。自他の区別なく命を等しく尊い物とするのがすなわち慈悲の心です。お盆はご先祖様から慈悲の心を教わる行事なのかもしれませんね。

さて、お盆の時に飾り付けるお盆飾りを紹介しましょう。絵をごらんください。

1. お仏壇の前などにテーブルを置きマコモなどを敷く
2. 四方に笹の枝を立て、麻縄などで結ぶ
3. 縄目にほおずきなどを挟んで提灯に見立てて飾る
4. 仏壇から位牌を出して並べ、香炉、燭台、花等を飾る
5. キュウリとナスに麻殻か割り箸などで足を付け、馬と牛を作る。
6. 蓮の葉にナスやキュウリの粗みじん切りと生米を混ぜ洗って水をきったものを乗せる「水の子（みずのこ）」、清水を椀に満たした「閻伽水（あかみず）」を供える
7. 毎日の食事を少し取り分けて膳をつくり供える
8. その他、そうめん、果物など夏の食物を供える



麻殻、マコモ、ほおずき等のお盆セットがスーパーなどで売っています。全部出なくても出来る物だけを心を込めて飾ってください。その他地域によってお供え物に違いがありますがあまり「こだわらず」に基本的には夏の作物をお供えしてください。またお盆はご先祖様のお里帰りといわれますね。13 日夕に麻殻などを玄関先や門前で焚いて迎え火をし、お墓参りをします。16 日夕には再び送り火を焚いて、ご先祖様を送り出します。キュウリの馬で急いでお迎えに行き、ナスの牛でゆっくりと帰って頂く。忙しい皆さんもこの間はどうかゆっくりお時間を取って毎日の生活を見直してみてもいいかもしれません。

コラム 「お葬式にまつわるお話」

近年、お葬式や仏事に関する環境は大きく変わってきている、という声をよく聞きます。このコーナーでは、普段なかなか触れることのできないお葬式の中身や、率直な「お寺の声」もお届けしていこうと思います。

さて、TVや雑誌などで最近良く聞くのが「直葬」という言葉。直に火葬場へ、という意味です。TVで男性タレントが「俺は葬儀はいらぬ、墓もいらぬ。直葬でいい、骨は撒け」と言っていました。正直私は「この人はずいぶん自分勝手な人だな」と思いました。残された奥さんや子供は愛するお父さんを亡くした悲しみをどうやって乗り越えていけばいいの？送る側にとって親しい人を亡くす悲しみは、とても大きな「人生の大問題」です。「葬儀はいらぬお墓もいらぬ」なんて自分の格好ばかりでそのことを全然考えてない。私自身は葬儀式に様々なスタイルがあることはかまわないと思うんですが、TVや雑誌、葬儀屋の営業トークにだまされて大事な事を見落としてはならないと思っています。それはお葬式だけで「お弔い」が終わるわけではない、ということです。お弔いというのは、親しい人を亡くした悲しみが癒やされていく課程です。仏教で言えば葬儀から四十九日納骨を経て年忌法要（臨済宗は 33 年忌）まで、儀式として筋立てられたプロセスを通して、その悲しみがいつの間にか整理されきちんと心の中に収まっていく、その過程が「お弔い」であり、主人公は「死者」ではなく「送る側」。このことを忘れてい

{い} あいうえお用語辞典 いっきゅうさん（一休さん）

言わずと知れた臨済宗の高僧です。最も有名なお坊さんの一人ですね。後小松天皇の落胤として生まれながら、政争を避けた母に出家させられます。とんち話は所謂「むかし話」ですが、闊達で常識や権威にとらわれない自由自在な生き方は、現代の私たちをも引きつけてやみません。

→から「直葬」なんて発想が出てくる。お葬式って二回できないんです。火葬場まで送って終わりの葬儀屋、おもしろおかしく伝えるだけのメディアに当人の悲しみ苦しみなんてわかりっこないんですから。

そこでお願いです。もしもの時はまず最初にお寺に連絡してください。病院だと指定業者が近づいて来ますが、「まずお寺に指示を仰ぎます」とはつきり言ってかまいません。お寺から信用できる葬儀社を病院まで派遣します。そうすることで、大事なお弔いのスタートに立つ準備をしなくてはなりません。もし、わからないことや迷うことがあったら一緒に考えますから遠慮なく言ってください。「葬儀場を持つお寺」として約 20 年、その経験と人脈を最大限生かして、簡素であってもきちんとしたお弔いができるようにします。もしもの時以外でも、いつでもご相談に来てください。お寺と檀信徒は一緒に大事な「お弔い」をするパートナーなんですから。

編集後記

- ・東日本大震災被災者の方々には心より哀悼の意を捧げます。
- ・当山ではこれよりも引き続きご供養を続けて参ります。
- ・ご意見ご質問など、当山ホームページ、メールでも受付ています。ご利用ください。

宝泉寺 042 (661) 3353

ホームページ <http://www.housenji.net/>

E-mail info@housenji.net/

霊園管理事務所から 霊園だより

じめじめとした日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

梅雨が明けるとお盆の時期がやってきます。管理事務所でもお花お線香を用意して皆様をお待ちしております。ぜひご利用ください。皆様の御壮健をお祈り申し上げます。



管理事務所 042 (663) 8377